

野村陽子 著

# 看護制度と政策

ISBN 978-4-588-67518-8 C3036

A5判・上製 366頁 定価（本体 5300円＋税）

超高齢社会を迎える日本の看護制度がいま直面している問題とは何か。現場の看護師がより専門性・自律性をもって働ける環境を創るにはどんな制度変更が必要か。厚生労働省の医政局看護課長を務めた著者が、明治期の医制創設から戦後改革をへて現在にいたる看護制度の歴史の変遷を辿り、多様なアクターによる政治的決定過程を具体的に検証しつつ、今後の公共医療のあり方を問う提言の書。

## 主要目次

序章

第1章 看護制度の歴史の変遷

第2章 医療資格制度の構造

第3章 近年の准看護師制度の政策過程

第4章 訪問看護制度の政策過程

第5章 看護政策の特徴と推進の課題

第6章 看護制度の課題と今後の方向性

終章 制度変革のために

あとがき



野村 陽子（ノムラ ヨウコ）神奈川県出身。聖路加看護大学衛生看護学部卒業。博士（政治学、法政大学大学院）。国立病院医療センター、新宿区保健所、（財）東京都神経科学総合研究所を経て1984年厚生省入省。健康政策局計画課、看護課、保険局医療課、保健医療局地域保健・健康増進栄養課保健指導室長、医政局看護課長。2014年から京都橘大学看護学部教授。主な著書：『保健師助産師看護師法60年史』（共著、日本看護協会出版会）、『最新保健学講座7 保健医療行政論』（編共著、メヂカルフレンド社）、『看護管理学習テキスト7 看護制度・政策論』（共著、日本看護協会出版会）、論文：「看護の政策過程——准看護師問題を中心に」（『法学志林』第111巻第4号）。

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 **法政大学出版局** TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

看護制度と政策

（冊）

書店名・番線

注

ISBN 978-4-588-67518-8 C3036 定価（本体 5300円＋税）

文

お名前： \_\_\_\_\_

書

ご住所： \_\_\_\_\_

お電話： \_\_\_\_\_